

04 Pro Tools Extream Shortcut Allstars

1-8

まずはPro Tools 11から搭載された機能であるダブルクリックでのトラック追加機能。これはミックスウィンドウや編集ウィンドウの空欄をダブルクリックすると、直前に作成したトラックと同じものを追加するという機能。この機能にショートカットを組み合わせることで、チャンネルフォーマットは同じで、トラックの種類をオーディオトラック・AUXトラック・マスタートラック・Instトラックにそれぞれ指定して作成することができるショートカットだ。

9-13

Pro Tools 10で搭載されたクリップゲイン機能。これに関しても多くのショートカットが用意されている。特にスマートツールで作業している場合、クリップゲインラインが表示されていると範囲指定がしにくかったり、グラフツールにさせにくかったりしたが、クリップゲイン表示・非表示のショートカットを使用すれば、この煩わしさから解放される。また、クリップゲインをマウスで調整すると、びったり3dB上げる/下げるといった操作がしにくい。クリップゲインをナッジで調節すると、一定間隔でクリップゲインが上下するため、すぐに的確な調整ができる。また、ナッジ値も初期設定で0.1dB刻みで設定することが可能だ。

普段からショートカットを多用している方には是非覚えてもらいたいのはコマンドキーボードフォーカスの切り替えだ。この切り替えがクリップリストやグループリストになってしまいうことが稀にあり、シングルショートカットが効かないということがよくあるが、このショートカットを覚えておけば、すぐに通常作業へ戻ることが出来る。ちなみに、Command + Option + 2でクリップリストへフォーカス、Command + Option + 3でグループリストへフォーカスが可能。全グループを保留するショートカットと合わせて使うと非常に便利なショートカットである。

14-19

アウトプットアサインのパスの前に「+」マークがついていたことはないだろうか。これは、アウトプットが複数のパスへアサインされている＝ミラーリングされ別々のパスへアサインされていることを示す。この使用法はミックスウィンドウだけでなく、ハードウェア設定の画面でも同様に使用することが可能。セッション単位でアウトプットをミラーリングするのではなく、システムとしてアウトプットをミラーリングすることも行える。

20-24

トラックビューの表示切り替えにもいくつかショートカットが用意されている。表示方法を上から順番に切り替えるショートカットは、トラック切り替えになっていないので、特に波形表示とプレイリストを切り替える時などに便利だ。また、プレイリスト表示にすればトラックが保持しているプレイリストが全て表示されるため、一目でどんなクリップがあるかが確認できる。そのほかメインプレイリストからクリップを新規プレイリストへ移動することも可能である。この時、Controlキーを押しながらクリップを移動させると、時間ロックがかかり、クリップを横方向（時間軸）へ移動してしまうのを防ぐことができる。ちなみに、Controlキーはクリップのトラック間移動の際にも有効なショートカットだ。

特にトラックビューのなかでも一番よく使う波形表示とボリューム表示については、それぞれを表示切り替えるショートカットが用意されている。オフラインでボリュームデータを書いたり、ブレイクポイントを開いたりするのに便利な機能だ。

「挿入位置は再生に従う」機能だが、Pro Tools初期設定にも同じ項目があり、そこには「タイムライン挿入/再生スタートマーカーは再生に追従」とある。それぞれ表記が違っているが、これはテープのように停止したところから再生を始める動作の事で、Pro Tools 8から編集画面に表示されるようになった。度々、編集作業中に「再生ポイントが動いてしまい、同じところから再生されない!!」といった声を聞く。音楽編集において、サビ前など同じところから何度も再生することが多いが、再生ポイントが停止した場所へ急に動いてしまうことがある。これは、シングルショートカットの「N」キーをスペースと一緒に押してしまっていることが多い。気が付かないでこのキーを押していることがあるので、覚えておいて損はないと思う。

音楽業界標準のDAWであるPro Tools。出来る機能が多いからこそ、オペレートには極力時間を割きたくないもの。ショートカットを使用すれば容易にオペレート出来るだけでなく、思いついたアイデアをいち早くミックスへ反映させることが出来る。そこで、ここではPro Tools 11から搭載された機能・ショートカットを中心に、日々のオペレートをスムーズに・より快適にするショートカットをご紹介します。

04 text by 赤尾 真由美 ROCK ON PRO Product Specialist

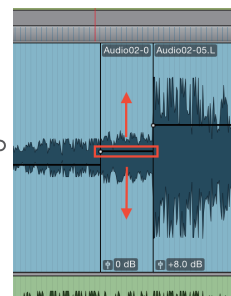
JAPRS Pro Tools資格認定委員としても活躍するPro Toolsのスペシャリストでもある。クラシック系音楽大学出身というバックグラウンドを持ち、確かな聴感とDAW / デジタル・ドメインの豊富な知識を活かし、ミュージックマーケットからブロードキャストまで幅広い層へ提案を行っている。



1. 直前に作成したトラックと同じチャンネルフォーマットのオーディオトラックを追加
Command + + 編集ウィンドウおよびミックスウィンドウの空欄をダブルクリック
2. 直前に作成したトラックと同じチャンネルフォーマットのAUXトラックを追加
Control + 編集ウィンドウおよびミックスウィンドウの空欄をダブルクリック
3. 直前に作成したトラックと同じチャンネルフォーマットのMasterトラックを追加
Shift + 編集ウィンドウおよびミックスウィンドウの空欄をダブルクリック
4. ステレオ インストゥルメント・トラックを追加
option + 編集ウィンドウおよびミックスウィンドウの空欄をダブルクリック
5. 選択しているトラックのプラグインを全てバイパス
Shift + A
6. 選択しているトラックのEQを全てバイパス
Shift + E
7. 選択しているトラックのDynを全てバイパス
Shift + C
8. バランスダイアログ上で、新しいバウンスソースを追加/削除
Command + Shift + ↑/↓
9. クリップゲインラインの表示
Control + Shift + 「-」（マイナス）
10. クリップゲインを上下にナッジ
Control + Shift + ↑/↓
11. ナローミックスウィンドウの切り替え
Command + option + M
12. 直前のセッションを開く
Command + Shift + O
13. コマンドキーボードフォーカスON
Command + option + I
14. 全グループを保留
Command + Shift + G
15. 選択した範囲を編集ウィンドウの幅に合わせて表示
option + F
16. セッションの全長を編集ウィンドウの幅に合わせて表示
option + A
17. 全てのトラックを編集画面に合わせてリサイズ
Command + Shift + option + ↑
18. アウトプットのミラーリング
Control + アウトプットアサイン
19. トラックビュー表示の変更
Command + Control + ←/→
20. トラックビューを波形とボリュームで切り替える
Control + 「-」（マイナス）
21. クリップの編集ロック
Command + L
22. クリップの時間ロック
Command + Control + L
23. 挿入位置は再生に従う（再生を停止した際、止めた場所に再生位置を止める）
Control + N
24. フローティングウィンドウを全て隠す/再表示させる
Command + option + Control + ↑



■1~4.



■10.



■18.



■20.